『ボールを飛ばしたい』　　５歳児　4月　伏見こども園

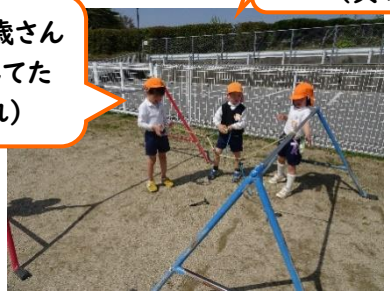
エピソード

Ａくんと Ｂくんがゴムロープを鉄棒と鉄棒にカラビナで引っかけていました。保育者が何をしているのか尋ねると、①Ａくん「ボールを飛ばしたいねん」Ｂくん「そうそう」と話し、Ａくん「前の５歳さんこうやってたと思うねん」と、昨年の ５ 歳が遊んでいた姿を思い出しながら、ボールを飛ばす仕掛けをつくっていました。Ａくん「もう少し近い方がいいかな」Ｂくん「引っ張るわ」と、②鉄棒の位置を近づけたり、ゴムロープの引っかけ方を変えたりしながら、ボールを飛ばす準備をしていました。「やってみよう」と、ＡくんもＢくんもテニスボールを持ち、最初にＡくんがゴムロープの真ん中でボールとゴムロープを一緒に引っ張り、手を離すと、ボールは少し前に飛びました。Ａくん「飛んだ！」Ｂくん「次はぼくがやるわ」と、今度はＢくんがやってみると、③ボールはＢくんの方に飛んできて、二人で「戻ってきた！」と笑い合い、「もう一回しよう」と、何度もゴムロープを引っ張り、いろいろな方向にボールが飛ぶことに面白さを感じていました。 ④Ａくん「ボールを上に飛ばしたいな」と、ゴムロープのかけ方を変えながら楽しんでいます。

子どもの育ちや学び

ボールを飛ばしたいねん
（興味）（挑戦）

前の５歳さん
はこうしてた
（憧れ）



もう少し近い方がいいかな
（試す）

①昨年度の５歳児の遊びを思い出したことが刺激となり、自分達もやってみようとする。

②「ボールを飛ばしたい」という目的をもち、鉄棒の距離やゴムロープのかけ方を考えて試す。

戻ってきた！
（驚き）（面白さ）

上に飛ばしたい
（意欲）（新たな目的）

③思わぬ方向にボールが飛ぶことに面白さを感じ、繰り返しやってみようとする。

④何度もやってみることで、ボールの飛び方の違いを感じ、新たな目的をもつ。

保育者の思い

・昨年度の ５ 歳児の遊びの姿を思い出しながら、自分達もやってみたいという気持ちに寄り添い、ボールの飛び方を一緒に楽しみました。
・Ａくん Ｂくんがゴムロープのかけ方や飛ばし方などを自分達で考えてやってみようとする姿を大切にしたいと思い、声掛けは少なくし、見守るようにしました。
・ゴムロープの掛け方や引っ張り方を考え、試すことで、ゴムの特性や力加減などを感じ取り、工夫することや新たな遊びにつながっていってほしいと思います。

家庭だったら

・新年度になり、いろいろな用具を使ってみたり、新しい遊びを楽しんだりしています。自分達の遊びを見つけていく過程をおうちの方も一緒に楽しんで見たり話を聞いてあげたりしてください。